

堀江小学校

所在地：大阪市西区北堀江 3-2-16
 電話番号：06-6531-4821
 F A X：06-6531-0876
 校長名：藤原 和彦



堀江小

運営に関する計画

○学校教育目標

「支えあい健康で創造性に富んだ人間の育成」

○中間目標からの抜粋

子どもが安心して成長できる安全な社会の実現

- 令和2年度末の本校アンケート調査で、「命の危険があるとき、自分の身を守るために、どう行動したらよいか分かる」（地震や火災、交通安全など）の項目について、「思う（だいたい思う）」と回答する児童の割合を90%以上にする。

心豊かに力強く生き抜き未来を切り開くための学力・体力の向上

- 全国学力・学習状況調査において、国語、算数とも「知識に関する問題、および「活用に関する問題」について、毎年度、全国平均より平均正答率及び中央値を高く、前年度よりも標準偏差を小さくする。※理科がある年度は理科も含める。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査で、すべての種目の結果を全国平均の水準以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数
70	72

調査対象：令和元年度の小学6年生

【国語】平均正答率は、70%であり、全国と比較すると、6.2ポイント高い。⇒主に基礎的・基本的な知識・技能が定着している子どもが、全国平均より多いことを示している。また、国語科において、主に知識・技能を様々な場面で活用する力が身につけている子どもが、全国平均より多いことを示している。平均無回答率は、1.0%であり、全国と比較すると、5.2ポイント低い。⇒国語科において、わからない問題でも粘り強く取り組む子どもが、全国平均より多いことを示している。

【算数】平均正答率は、72%あり、全国と比較すると、5.4ポイント高い。問題別無回答率は、全国と比較すると、いずれも低く、無回答率0%の問題もある。⇒どんな問題にも、粘り強く取り組む子どもが、全国平均より多いことを示している。

「数と計算」の領域では、平均正答率67.8%で、全国平均よりも4.6ポイント高い。

「量と測定」の領域では、平均正答率61.1%で、全国平均よりも8.2ポイント高い。

「図形」の領域では、平均正答率79.0%で、全国平均よりも2.3ポイント高い。

「数量関係」の領域では、平均正答率73.5%で、全国平均よりも5.2ポイント高い。

☆学習内容の、習得・活用・探究に力を注ぎます。

全国体力・運動能力、運動習慣調査等の結果

調査対象：令和元年度の小学5年生

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	16.64	19.51	29.98	38.70	36.50	9.32	147.73	20.38	50.10
女子	16.21	19.05	36.25	37.15	32.04	9.80	137.09	12.25	52.07

【男子】

- 握力、50m走の2種目が全国平均を上回っている。
- 上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げの6種目が全国平均を下回っている。

【女子】

- 握力・上体起こしの2種目が全国平均を上回っている。
- 長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げの6種目が全国平均を下回っている。

【全体】

前年度の5年生体力テスト全国平均と比較すると、今年度（令和元年度の体力テスト全国平均は、まだ公表されていないため、H30年度体力テスト全国平均を使用）の男子の全国平均以上の種目数は前年度（握力・上体起こし・反復横跳び）より少なく2種目（握力・50m走）だった。女

子についても、前年度は4種目（握力・上体起こし・反復横跳び・ソフトボール投げ）が全国平均を上回っていたことに對し、今年度は2種目（握力・上体起こし）と2種目全国平均を下回る結果となった。

【想定している主な取り組み】

- ・体育科の学習において、各学年系統性のある指導を行い、授業時間内での基礎的技能的の習得。
- ・授業中の運動場や講堂の使用率を上げ、児童の運動量の確保。
- ・冬のマラソン週間の実施や新校舎前にある遠投機器の活用、体ほぐしなどの柔軟体操の実施。
- ・体力・運動能力調査の特定種目に関して、再度、調査を実施する。記録カードの工夫・整理。

☆運動場の一人あたりの面積の狭隘化が進んでおり体育科の授業の充実とともに、狭小スペースでも効率よく運動できるよう工夫しています。

特色ある取り組み

SPS(セーフティ プロモーション スクール)防災教育

東日本大震災の被災現場取材してきた記者の方の話の聞いたり、地域の方や区役所の方と共に防災フォーラムを行ったり安全安心な学校づくりの取り組み(SPS)を行ったりすることで、防災意識を高めるとともに、心の教育につなげています。



堀江小

ICT活用授業

全教室に電子黒板を設置しています。タブレットは全校で200台あり、大阪市の拠点校としてこれからの学校教育ICT活用をけん引しています。プログラミング学習も研究しています。



【2年図画工作】うごく絵本をつくろう



【4年音楽】言葉でリズムアンサンブル



【6年理科】発電と電気の利用

眼育・IPF

【眼育】

健康教育で規則正しい生活や睡眠の重要性を伝える取り組みに力を入れています。

【全校児童でコンテストを行ったオリジナルキャラ】



【IPF(体力向上)】

確実な運動量の確保と系統性を意識した授業実践を通して、運動の楽しさに気づき、主体的に学ぶ子どもの育成を目指しています。

幼小連携

本校では、近隣の幼稚園・保育所を中心に連携を深め、1年生として本校に入学するにあたっての不安を取り除き、安心して通学できるよう共同で取り組みを進めています。

